部品の交換・購入について

●損傷した場合は、新しい部品と交換（有料）してください。
●お買い求めの際には、製品の型名をご確認のうえ、お買い上げの販売店でお求めください。
（ホームページでのご購入は下記のお客様ご相談窓口参照）

部品名	部品番号
せんセット	SD-SD01-○○
せんパッキン	567251-00
キャップパッキン	BB395009M-00
ポーチ	BB452834N-○○
ステンレスボトル用洗浄剤ピカボトル（10g×4包入り）	SB-ZA01-J

○○表示は部品色柄記号です。お求めの際は製品の色柄記号までご指定願います。
（底面シールに表示）
<表示例>
SD-AK05 AC ←色柄記号

●せんセット・せんパッキン・キャップパッキンは消耗品です。1年を目安にご確認ください。
●せん等の樹脂は食品衛生上安全な材料を使用していますが、ザラザラしてきたり、損傷してきた場合は新しい部品に交換(有料)してください。

お客様ご相談窓口

修理・お取り扱い・消耗品や部品のご購入などのご相談は、まずお買い上げの販売店にお問い合わせください。ご転居やご贈答品などでお困りの場合は、弊社の窓口「お客様ご相談センター」にお問い合わせください。所在地・電話番号などは変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

お客様ご相談センター ナビダイヤル® **0570-011874**
市内通話料金でご利用いただけます

受付時間　9:00～17:00　月曜日～金曜日（祝日・弊社休業日を除く）
●携帯電話・PHS・IP電話など（ナビダイヤルが利用できない電話）でのお問い合わせ･････････････････････Tel（06）6356-2451
●ファクシミリでのお問い合わせ･････Fax（06）6356-6143
製品の「型名・お問い合わせ内容」と、お客様の「お名前・ご住所・電話番号・Fax番号」をご記入のうえ、お問い合わせください。
〒530-0043　大阪市北区天満1丁目19番9号

お客様からご提供いただく「お名前・ご住所・電話番号など」は、製品のアフターサービスおよびその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますのでご了承願います。

■ホームページのご案内

部品・消耗品・別売品のご購入専用ページ　http://www.zojirushi-de-shopping.com/

象印マホービン株式会社

SD-AK / D

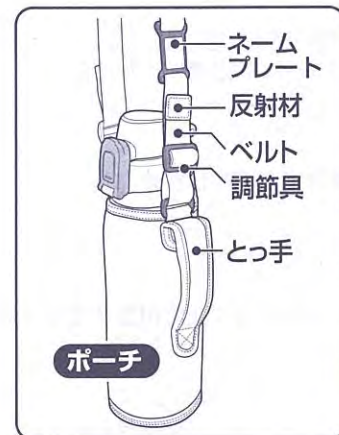
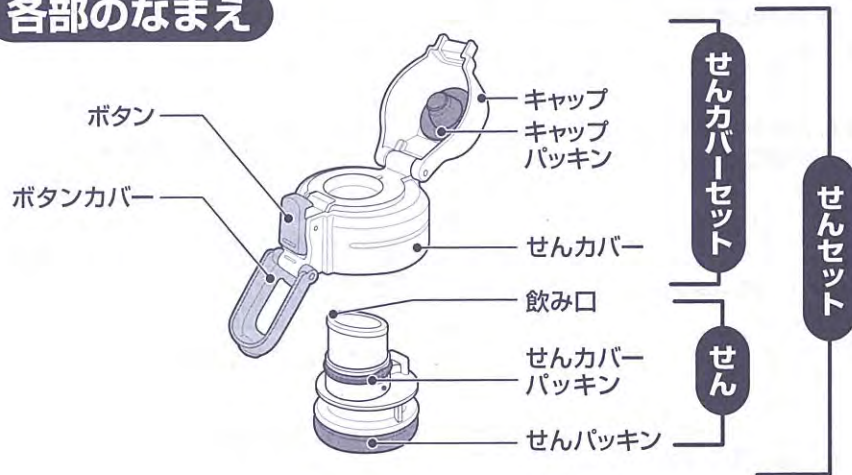
保冷専用　家庭用

ステンレス クールボトル　SD-AK型　取扱説明書

各部のなまえ

ボタン
ボタンカバー
キャップ
キャップパッキン
せんカバー
飲み口
せんカバーパッキン
せんパッキン
せんカバーセット
せん
せんセット

肩部
本体

ネームプレート
反射材
ベルト
調節具
とっ手
ポーチ

●お買い上げの商品とこの取扱説明書に記載したイラストは異なることがあります。

ご使用前に必ずお読みください。そして大切に保管してください。

必ずお守りください

●ご使用になるときは、飲み物の変質・変色や製品の故障・汚れを防ぐために、次のことは必ずお守りください。

乳幼児のいたずらには十分注意する
けがの原因になります。

せんセットは確実に取りつけて使用する また使用後はキャップ・ボタンカバーを閉じる
漏れて衣服やバッグなどが汚れます。

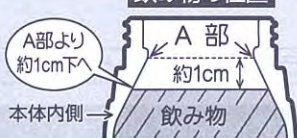
せんセット・キャップを持って運んだり、振り回さない
指をはさんだり、落としたりしてけがの恐れがあります。また、キャップの破損の原因になります。

ボタンカバーを持って運んだり、振り回さない
指をはさんだり、落としたりしてけがの恐れがあります。また、ボタンカバーの破損の原因になります。

ポーチのベルトを持って振り回さない
けがや破損など危険です。

本体外側の底に貼っている底シールは絶対にはがさない
さびや穴あきなど故障の原因になります。

自動車走行中は飲まない
車内や衣服を汚す原因になります。
また運転者の場合、運転への注意が散漫となり、非常に危険です。

飲み物の量は図の位置までにする
入れすぎてせんセットを取りつけると、飲み物があふれる原因になります。
また、あとから漏れ出すことがあります。

ベルトを首からさげたまま遊んだり、周囲の物に引っ掛けない
窒息の恐れがあります。

本体内側のフッ素樹脂コーティングを傷つけない
傷がつくと、さびや穴あきなど故障の原因になります。

使用後はすぐに本体内側をよく洗う
さびや穴あきなどの故障や腐敗の原因になります。

ストーブやコンロなど火のそばに近づけない
変形や変色の原因になります。

改造や分解修理はしない
故障や事故の原因になります。

熱い飲み物は絶対に入れない
やけどなど危険です。

飲み物の保冷以外に使用しない
冷たい飲み物を入れての保冷を目的としたものです。

せん・せんパッキン・キャップパッキンは必ずつけた状態で使用する
漏れて車内や衣服を汚す原因になります。

お手入れの際は次のことを守る
- **シンナーやベンジン・金属たわし・研磨材入りたわし・みがき粉・クレンザーなどは、使用しない**
  製品を損傷する原因になります。
- **塩素系漂白剤は使用しない**
  さびや穴あき(本体内側)など故障の原因になります。
- **煮沸はしない。また食器洗い乾燥機や食器乾燥器などは使用しない**
  傷やさび・変形など故障の原因になります。
- **丸洗いできますが、つけ洗い(水中に放置)はしない**

次の物は絶対に入れない
- **ドライアイス・炭酸飲料など**
  本体内の圧力が上がり、飲み物がふき出たり、せんセットが破損して飛散することがあり危険です。
- **みそ汁・スープ・昆布茶など、塩分を多く含んだもの**
  本体内側は、ステンレスにフッ素樹脂コーティングを施しておりますが、さびたり、保冷性能が低下する原因になります。
- **牛乳・乳飲料・果汁など**
  成分が腐敗することがあります。そのまま長く放置した場合は腐敗によりガスが発生し、本体内の圧力が上がり、飲み物がふき出たりせんセットが破損して飛散することがあり危険です。
- **果肉・お茶の葉など**
  詰まる・漏れるなど故障の原因になります。

飲み物はその日のうちに飲みきる
長時間放置した場合は腐敗によりガスが発生し、本体内の圧力が上がり、せんセットをはずすときにせんセットが飛んだり、飲み物がふき出たり、せんセットなどが破損して飛散することがあり危険です。

ご注意とお願い

氷が大きくて入らない場合は、あらかじめ小さく砕いてから入れる
無理やり押し込んだり、たたいたりすると、変形し、故障の原因になります。

缶やびんなどを本体に入れない
変形し、故障の原因になります。

落とす、ぶつけるなど、強い衝撃を与えない
樹脂部分が破損したり、ステンレス表面がへこみ、保冷性能が低下することがあります。

ベルトは洗わない
反射材がはがれ、反射性能が低下する原因になります。

ベルトが濡れたまま放置しない
雨や水で濡れたまま放置すると、ベルトの反射材が劣化することがあります。すぐに水分をふき取るなどのお手入れをしてください。ふく際には強くこすらないでください。
(P.8「お手入れ」を参照)

湿度が高いときにせんセットに水滴がつく場合があります。バッグなどには縦置きにして入れてください。

使用後は必ずせん・せんパッキン・キャップパッキンをきれいに洗う
腐敗・カビ発生・におい移り・変色の原因になります。また飲み物が漏れる原因になります。

本体の絵柄をつめや固いものでひっかいたり、こすったりしない
はがれる原因になります。

ポーチを使用しないときは、通気性の良い場所に保管する
湿度の高い状態になるとシワが出る場合があります。

反射材を強くこすらない。
反射性能が低下する原因になります。

製品専用の部品以外は取りつけない
漏れや故障の原因になります。

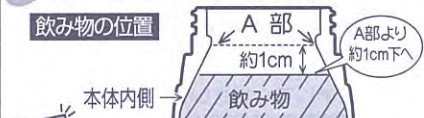
氷を入れた場合など本体内の圧力が下がり、キャップを開けたときに、キャップパッキンがはずれる場合があります。その場合はつけ直してください。

使い方 ご使用前にせんセット･本体内側を、ぬるま湯で十分洗ってください。

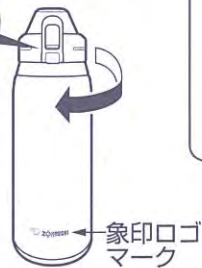
せんセットは、下記のような状態ではつけはずししない
- ポーチをつけた状態
- ボタンカバーが開いた状態
- ボタンカバーを持ったままの状態

1 本体からせんセットをはずす

せんセットを矢印の方向に回し、はずします。

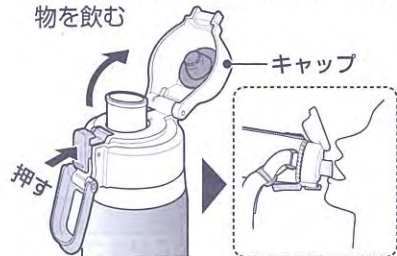
2 冷たい飲み物を入れる

point あらかじめ本体に少量の冷水を入れ、1分程度予冷するとより効果的です。

3 せんセットを取りつける

キャップとボタンカバーを閉めた状態で、せんセットを矢印の方向に回し、確実に取りつけます。

- せんセットは本体を立てた状態で、象印ロゴマークとせんセットの正面が合う位置まで、確実に取りつけてください。

4 キャップを開けて飲み物を飲む

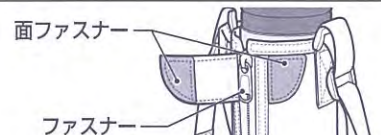
①本体を立てた状態で、ボタンカバーを矢印の方向に開く

②ボタンを押してキャップを開け、飲み物を飲む

5 飲み終わったら、キャップを閉める

①本体を立てた状態で、キャップをカチッと音がするまで確実に閉める

②ボタンカバーをカチッと音がするまで確実に閉める

- 飲み物を飲んだあとは、本体を立てた状態でキャップを閉めてください。

- せんパッキンやキャップパッキンが正しく取りつけられていることを確認の上、ご使用ください。(飲み物が漏れる原因になります。)
- 本体を逆さにして漏れのないことを確認してください。漏れた場合は「P.9 **Q&A**」参照

面ファスナー

ファスナー

- ファスナーや面ファスナーは確実に最後まで閉めて使用してください。

- バッグなどに入れるときは、万一の漏れを防ぐために本体を縦に置いてください。

ポーチのベルトについて

- 調節具には表裏があります。はずした場合には、調節具が下図の表向きになるように取りつけてください。

- 調節具は、ベルトを本体からはずした状態で引っ張ると簡単にはずれます。なくさないように注意してください。

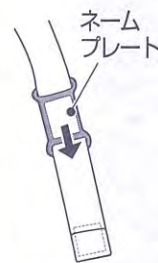
- ベルトは調節具から4cm以上出してください。
短すぎると調節具からベルトがはずれ、本体が落下する恐れがあります。

■はずし方

① ベルトを矢印の方向に押し出し、調節具からはずす

② ベルトをベルト固定部からはずす

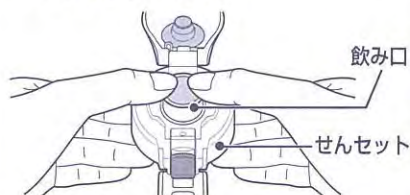
③ ベルトを矢印の方向に押し出し、調節具をはずす

④ ネームプレートをはずす

- 取りつけ方は、はずし方の逆手順で行ってください。

せんセットの分解方法
●組立方法はP.7参照

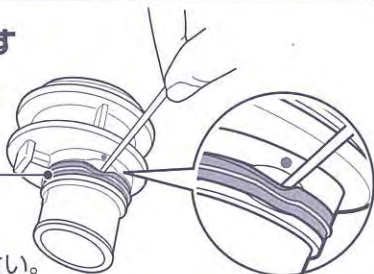
1 せんセットを本体からはずす

2 せんをはずす

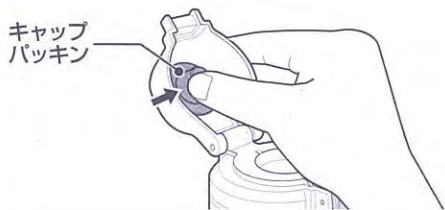
キャップを開けた状態で、図のようにせんセットを持ち、飲み口を押してせんをはずします。

3 せんパッキンを取りはずす

4 せんカバーパッキンを取りはずす

せんの●印の近くにある切り欠き部分につまようじなどを差し込み、せんカバーパッキンをはずします。

せんカバー
パッキン

●パッキンを傷つけないようご注意ください。

5 キャップパッキンを取りはずす

キャップパッキンの先を指で横に押し、矢印の方向に動かしてはずします。

せんセットの組立方法

●分解方法はP.6参照

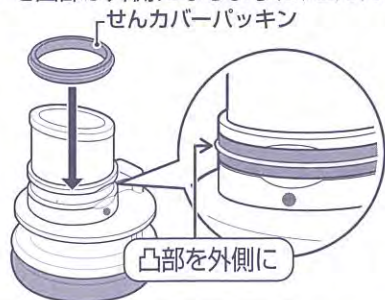
●せん・せんカバーセット・せんパッキン・せんカバーパッキン・キャップパッキンは、正しく取りつけてください。（作動不良・飲み物が漏れる原因になります。）

1 せんパッキンを取りつける

せんパッキンの凹部とせんの凸部を合わせ、周囲から押し込むようにして取りつけます。

上下を間違わないように注意してください。（飲み物が漏れる原因になります。）

2 せんカバーパッキンを取りつける

せんカバーパッキンを凸部が外側になるように、せんに取りつけます。

3 キャップパッキンを取りつける

キャップパッキンをキャップの奥まで押し込み取りつけます。

●キャップパッキンは必ず取りつけて使用してください。

4 せんを取りつける

せんカバーセットの凸部とせんの凸部を合わせ、せんを下から押しつけ、奥まで確実に取りつけます。

お手入れ

●いつまでも清潔にご使用いただくために、ご使用後は必ずお手入れをしてください。

●必ず分解してからお手入れをしてください。（P.6参照）

本体外側 せんセット	①ぬるま湯で薄めた台所用中性洗剤をスポンジに含ませて洗う。 ②すすぎ洗いのあと、数回振り、水気をふいてよく乾燥させる。 ●せんセットは、せんパッキン・キャップパッキン・せんカバーパッキンをはずしてから洗ってください。 ●せんセットは分解した状態で洗浄、乾燥させてください。 ●洗いにくい部分は市販の小型ブラシなどで洗ってください。
本体内側	①ぬるま湯で薄めた台所用中性洗剤を、柄(え)のついた柔らかいスポンジブラシなどに含ませて洗う。 ②すすぎ洗いのあと、水気をふいて乾燥させる。 ●常にお手入れをしていただきますと、においの付着を防ぎ清潔に使用していただけます。
ポーチ	ネットに入れ洗濯機の手洗いコースまたはドライコースで洗い、日陰でよく乾燥させる。 ●手洗いをする場合は、水または30℃以下のぬるま湯で軽く手洗いして、十分乾燥させてください。 ●洗濯乾燥機では乾燥させないでください。 ●エタノールやアルコールを含む洗剤は使用しないでください。
ベルト	やわらかい布をぬるま湯に浸し、かたく絞ってからふく。 ●強くこすらないでください。反射材がはがれ、反射性能が劣化する原因になります。 ●ネームプレートをはずしてからふいてください。ネームプレートのシールがはがれる原因になります。

お手入れ つづき

お手入れ時の注意

- 煮沸はしないでください。また食器洗い乾燥機や食器乾燥器などは使用しないでください。
- 本体外側は、漂白剤を使用しないでください。

本体の塗装、印刷、シールがはがれる原因になります。

- シンナーやベンジン・金属たわし・研磨材入りたわし・みがき粉・クレンザーなどは、使用しないでください。
- 塩素系漂白剤は使用しないでください。
- 丸洗いできますが、つけ洗い(水中に放置)はしないでください。
- 本体を丸洗いしたあとは、必ず水分をふき取るようにしてください。

水滴のあとやさびが発生する原因になります。

赤さび状の斑点や水アカなどのお手入れ

使用中、水質や不純物などにより本体内側に赤さび状の斑点が出たり水アカが付着することがあります。このような場合は、食酢を約10%加えた湯を入れ、せんセットを取りつけずに30分〜1時間置いたあと、本体内側をよく洗ってください。
(P.8「お手入れ」参照)

茶しぶなどのお手入れ

本体内側・せんセットにこびりついた茶しぶなどの汚れには「象印ステンレスボトル用洗浄剤 ピカボトル」をご利用ください。(別売品)

- ピカボトルを使用する場合は、せんセットを本体からはずしてください。

Q&A

症状	原因	処置
せんセットから飲み物が漏れる	せんパッキン・キャップパッキンが正しく、しっかり取りつけられていますか?	せんパッキン・キャップパッキンの取りつけ位置や浮きがないことを確認してください。(P.7、8参照)
	せんパッキン・キャップパッキンが汚れていませんか?	お手入れをしてください。(P.8、9参照)
	飲み物を入れすぎていませんか?	少量の飲み物を捨ててください。(P.2 飲み物の位置 参照)
飲み物(本体内側・せんセット)がにおう	飲み物を長時間入れたままにしたり、本体内側・せんセットやパッキン類に茶しぶなどの汚れが付着していませんか?	お手入れ方法を参考にし、お手入れをしてください。汚れが落ちにくい場合はピカボトルをご利用ください。(P.8、9参照)
保冷が効かない	十分に冷たい飲み物を入れていますか?	十分に冷たい飲み物を正しい位置まで入れてください。予冷するとより効果的です。(P.4参照)
製品を振ると「シャカシャカ」という音がする	保冷効果を高めるために、本体内部に入れている銅箔(アルミ箔)がこすれて出る音です。異常ではありません。	